

各 位

2020年4月28日  
株式会社リットーミュージック

「ウルトラマン」の意匠世界を構築した芸術家の名著『特撮と怪獣 わが造形美術』増補改訂版で復活！

「シン・ウルトラマン」のデザインコンセプトの原点『真実と正義と美の化身』も掲載！



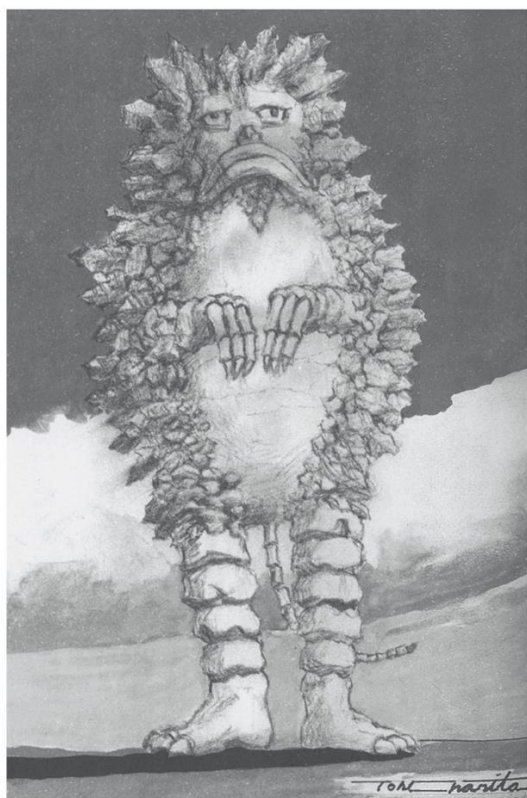
インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）は、『特撮と怪獣 わが造形美術 増補改訂版』を、2021年5月18日に発売します。

成田亨（1929年生～2002年没）は『ウルトラQ』『ウルトラマン』『ウルトラセブン』に実質的な美術総監督として参加、怪獣・メカなどのデザイン全般を手掛けた伝説の人物。

本書は1996年に発刊、近年は入手困難となっていた成田亨の自伝『特撮と怪獣 わが造形美術』に初版から25年間の情報を略年譜や仕事目録に追加するなど増補改訂して復活したものです。

映画『シン・ウルトラマン』（監督：樋口真嗣、企画・脚本：庵野秀明）に登場するウルトラマンのデザインコンセプトの原点でもある油彩画『真実と正義と美の化身』、そして本書のために描かれたオリジナルデザイン原画も掲載されています。

芸術家・成田亨が、怪獣デザインの発想、自身の彫刻作品、映画特撮美術など、その類稀なるアートセンスのすべてを語り尽くした名著です。



コチという魚をヒントに造形されたガラモン

### 自信作ガラモン

それでもべちよべちよにするためには今のところ、考えられる材料は有機ガラスしかない。特に水の中へ入るから。有機ガラスはものすごく高いから、そんなことできない。ばつ、ばつと断っていきました。で、何十年もたつてから、本に書かれたら困りますよね。

「ビーター」のすぐ次にできた怪獣が「ガラモン」です。これなんかかなり怪獣でしょう。「ガラモン」は実はロボットです。僕も最初は、ごくありふれたロボットを考えましたが、どうもロボットと怪獣は合わないのです。それにおもしろい形になりませんでした。宇宙人のロボットなので自由に考えられるはずなのですが、かえって、自由に好きなように考えるということのほうがむずかしいものです。それに「ガラモン」を描いたときは、僕の怪獣づくりの三つ目のものでしたので、僕自身もまだ慣れていませんでした。

僕という人間は、いつもものを考えている人間じゃなくて、デザインしようと思って、テーブルに画用紙置いて、鉛筆で二、三本線を引く。そうするとイメージが湧いてくるんです。「ガラモン」のときは、コチという魚の写真があつたんですね。この口が面白かった。だから、

## ■書誌情報

書名：『特撮と怪獣 わが造形美術 増補改訂版』

著者：成田亨

定価：本体 2,500 円 + 税

発売：2021 年 5 月 18 日

発行：リットーミュージック

商品情報ページ <https://www.rittor-music.co.jp/product/detail/3120317118/>

## CONTENTS

※おもな目次抜粋

ウルトラマンの顔の構造

ウルトラマンの美と強さ

『ゴジラ』の特撮現場に入る

壊れるビルの作り方

宇宙空間や雲をいかに描くか

半抽象造形に傾斜する

「強遠近法」を考案する

『ウルトラ Q』の撮影現場

高山良策と金城哲夫

怪獣デザインの三原則

自信作ガラモン

怪獣のイメージと造形化作業

ウルトラマンは七頭身である

構造的怪獣レッドキング、ゴモラ

ギャング、ベムラー、ガボラ

ザラブ星人、ジャミラ、ダダ

シーボーズ、ゼットン

マンからセブンへ

竜と鬼は神の怪獣である

## PROFILE

成田 亨 なりた とおる Tohl Narita

1929 年 9 月 3 日生。1950 年武蔵野美術学校（現：武蔵野美術大学）に入学。1954 年同美術学校卒業後、同研究科に進み自身の芸術活動を行う中、映画『ゴジラ』に美術スタッフのアルバイトとして参加、以降、多くの映画特撮美術に携わるようになる。1965 年からは『ウルトラ Q』

『ウルトラマン』『ウルトラセブン』に実質的な美術総監督として参加し、ヒーロー、怪獣、メカなどのデザイン全般を手がける。大阪万博「太陽の塔」内部の「生命の樹」をデザイン。その後も「突撃!ヒューマン!!」「円盤戦争バンキッド」などを手がけながら全国各地で自身の作品

の個展などを開催。1990年京都府大江山に「鬼のモニュメント」1993年岩手県北上市「鬼の館」に鬼のレリーフを制作。成田の独創的な造形美術は、今なお多くのアーティストにさまざまな形で影響を与え続けている。2002年2月26日、多発性脳梗塞により永眠。

【株式会社リットーミュージック】 <https://www.rittor-music.co.jp/>

『ギター・マガジン』『サウンド&レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー&クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア&コンテンツ事業を展開しています。新しく誕生した多目的スペース「御茶ノ水 Rittor Base」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』やエンタメ情報サイト『耳マン』、Tシャツのオンデマンド販売サイト『TOD』等のWebサービスも人気です。

【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：松本大輔、証券コード：東証1部9479）を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

---

【本件に関するお問合せ先】

株式会社リットーミュージック 広報担当 吉田（勇）、原見

Tel: 03-6837-4704 / E-mail: [pr@rittor-music.co.jp](mailto:pr@rittor-music.co.jp)